

編集後記

昨年ICD日本部会に入会させて頂くと同時に、広報・編集委員を仰せつかり、右も左も判らぬうちに諸先生に「おんぶにだっこ」で一年務めさせて頂きました。今回の46巻1号には、ICD創設者であり、我が母校東京歯科大学の中興の祖、奥村鶴吉先生の再調査報告が橋本光二先生の執筆で載せられ、また編集にあたり資料調査をされた鏡先生や井上先生から奥村先生の肉声を聞かせて頂くことで、先人の片鱗に計らずも触れることができ、感激でした。(今村 嘉宣)

ICDに参加し、さらに広報・編集委員という立場でその歴史に触れ、多くの素晴らしい先生方と出会い、たくさんの刺激を受けると同時に楽しい時間を過ごさせていただきました。その中で自分自身を見つめ対外的に一層の貢献を考えなければならない時期にきたと実感しております。一歯科医師のできることは限られていますが、ほんの少しでも歯科界のお役に立てればと考えています。

現在ホームページを担当させていただき、フェローの先生方には原稿依頼等ご迷惑をおかけしますが、進化するHPへ是非ともアクセスしていただくことをお願い申し上げます。(田中 康雅)

広報・編集委員長を担当して3年。鈴木常任理事、鏡理事のご指導の下、「第46巻第1号」を発刊することが出来ました。

皆様のご協力に感謝いたします。

今年は「ICD創設者・奥村鶴吉先生」に関していろいろ調べる機会を得ました。

久しぶりに母校を訪れ、母校のルーツを改めて知る良い経験をさせていただきましたが、多くの資料や写真を拝見するにつれ、諸先輩方の功績の裏にある大変な苦労、努力を感じました。

いろいろな本や資料を引っ張り出している中でたまたま知ったことですが、明治29年に足利で開業した主人の曾祖父の歯科医籍番号は200番台だったようです。娘の170628号という数字をみると、ここでも明治、大正、昭和、そして平成へと脈々と引き継がれた歯科界の歴史の一端を垣間見たような気がします。

未来の歯科界がさらなる発展を遂げますように…

(井上 淳子)

今年は、戦後70周年の節目。戦争を知らない世代が多くなり、政府が安全保障関連法案を成立させようとしているこの日本は、どの方向に向かっているのでしょうか。非常に不安に感じているのは、私だけではないと思います。ところで戦後復興に大きく影響を与えた一つが『ラジオ体操』であることを知っていましたか？ こんな時だからこそ、皆様のご家庭・仕事場・友人関係など良くするためにも、もう一度朝を大事にし、歯科界を日本を元気にしていきましょう！ 感謝を込めて… (白壁 浩之)

今回の日本部会雑誌に、国際部会理事の橋本光二フェローの特別寄稿が掲載されていますが、その中で奥村先生の肉声という、衛生学を知る者にとっては貴重な資料を入手することができました。僅か十数分のテープでしたが、口腔衛生学の歩みを明治初期の創成期から当時の(昭和27年)活動期まで4期に分類され講演されていました。そのどれを聞いても聞き逃すことができないほど貴重な内容でした。それにしても、戦後7年目で学校保健や地域の口腔衛生活動に力を入れている様子を知り、現在の口腔衛生活動の原点がここにあったことを改めて知る機会となりました。感謝です。(鏡 宣昭)

Journalの発刊にはI.C.D. の中では大きな予算執行額を占めています。その執行額に見合った内容にすべく、各編集委員もがんばってきました。

橋本光二国際理事にはICD創設者奥村先生の調査をまとめていただきました。特に記念すべき号になったと思います。東京歯科大学のご協力を得て、YouTubeで奥村先生の肉声をお聞きする事ができます。(鈴木 設矢)

ICDに入会してすぐ広報編集委員となり、早いもので3年が経とうとしております。

諸先生方の足を引っ張りながらも、今日まで広報編集委員を続けてこれましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。これからも、ご指導のほどよろしく願いいたします。(足立 徹)

先日の総会、認証式に1年遅れで出席しました。初めての参加でしたが色々な先生方にお世話をしていただき、本当に感激しました。広報委員会も出席率は極めて悪かった私ですが、編集後記を記す機会を与えていただきました。井上委員長始め委員の皆様にご感謝するとともに、今後はできる限りスケジュールを調整しお役に立てるよう頑張る所存です。(中村 勝文)